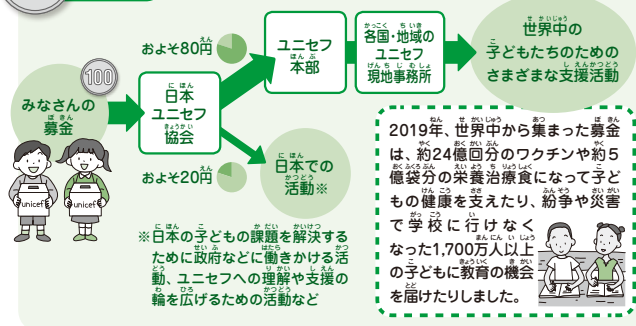


④ 募金を入れたら、この線で折って㊸と㊹をあわせ、テープで封をする

ユニセフ募金
えん たび
100 円の旅

みなさんの大切な募金。たとえば100円の募金は、下の図のような流れで世界中に広がって、ユニセフのさまざまな活動に大切に役立てられています。



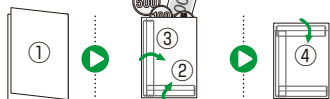
みなさんの募金で
届けられる
ものの例

2021年1月現在の価格
1米ドル=107円で計算

	重度の栄養不良からの回復に役立つ栄養治療食	3袋分 90円
	はしかを防ぐ予防接種用ワクチン	10回分 375円
	防虫効果が長続きするマラリアを予防する蚊帳	3張分 627円
	緊急時にも学校を開ける教材・学用品セット：スクール・イン・ア・ボックス (子ども40人と先生1人用)	1セット分 15,677円

募金袋
をつかって
みよう!

募金袋はポストに入れなくてください!



2つに折り合わせる。

㊸と㊹、㊺と㊻を折り合わせ、テープなどでとめ、袋に入れて募金を入れる。

㊼と㊽を折り合わせ、テープでとめて封をする。

●先生へお願い
学校募金用のチラシです。学校で集められた募金は「ユニセフ活動の手引き」中の振込用紙にてご送金ください。

募金は任意です。募金の金額に決まりはありません



すべての子どもに、
を。

と の こ せ かい
だれひとり、取り残さない世界のために
ユニセフと一緒に考えよう

子どもと先生の広場

検索

公益財団法人 日本ユニセフ協会

募金口座 * 郵便局 (ゆうちょ銀行): 00190-5-31000



unicef | for every child

② この線で折って㊸と㊹をあわせる

① 2つに折る
(山折り)

だれひとり、取り残さない世界をつくろう！

～新型コロナウイルスと世界の子どもたち～



マスクをつけて通学する日本の子どもたち

新型コロナウイルスの感染が世界中で広がり、日本の子どもたちの生活にも、世界の子どもたちの生活にも大きな変化が起こりました。同じ問題に直面しても、くらしている国や地域、家族の状況などによって、受ける影響の大きさには差があります。

世界で15億人が学校の休校を経験

いちばんおおいときで、15億人の子どもたちが学校により学校に通えなくなりました。オンラインで授業を受けられる子どもがいる一方、何か月も学校が休みのまま、ほとんど教育を受けられなくなっている子どももいます。



2020年
学校がはじまって
うれしさいっぱい！
西アフリカの国
コートジボワールで



4 質の高い教育を
みんなに

石けんのある 手洗い場がない学校は43%

病気の予防に大切な方法は、石けんを使った正しい手洗いです。でも、世界中の学校10校のうち約4校には、石けんのある手洗い場がありません。安全な水やトイレが身近にないという人もまだ多いのです。



6 安全な水とトイレ
を世界中に

食糧の配給を受け取ってひと安心

西アフリカの国
モーリタニアで



2 飢餓を
ゼロに

外出制限で 食料に困る人々たちも

感染予防のために外出が制限され仕事ができずに暮らしに困る家族や、学校の給食がなくなり食事をとれなくなる子どもたちも増えました。新型コロナウイルスは子どもたちの栄養状態にも影響をあたえています。

予防接種ができなくなった？！

感染を心配して、いつも行われていた予防接種がおくれたり、できなくなったりしたところがありました。子どもたちをおびやかす病気は新型コロナウイルスだけではなくありません。予防接種を続けなければ、別の病気が広がる危険が高まります。

ユニセフってなに？

ユニセフは「国際連合児童基金」といって、世界の子どもたちの命と健やかな成長を守るために活動している国連の機関です。ユニセフは、みなさんから寄せられた募金に支えられて、次のような活動をしています。

- 1 病気や栄養不良から子どもたちを守る
- 2 安全な水や衛生環境を広める
- 3 すべての子どもが学校に通い、学べるようにする
- 4 紛争や災害など特に厳しい状況にある子どもを守る
- 5 「子ども最優先」の考え方を広める



3 すべての人に
健康と福祉を

ユニセフがワクチンを
支援している保健センターで、
予防接種を受けられた
南米の国 ペネズエラで

すべての子どもに、 を。 あなたは、 にどんな言葉を入れたいと思いましたか？

新型コロナウイルスに加え、気候変動による自然災害や、紛争なども広がって、世界はたいへんな問題ばかりのようにも見えます。でも、すべての子どもに、 があったら、どのような変化が生まれ、どのように問題を解決していくことができるでしょうか？ 考えた言葉をみんなで発表し合って、意見を聞いてみましょう。そして、その のために、自分たちができること、これからしていきたいことを話し合みましょう。